(食料品)

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比+29.8%、前年同月比+7.2%。売上高は前月比+27.8%、前年同月比15.5%となった。

広島県東部菓子商工業協同組合

コストが上昇している。他都市でいわれているインバウンド特需は特に感じられない。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

3月の新設住宅着工戸数は89,432戸で前年同月比+39.1%、季節調整済年率換算値では1,080千戸(前月比+34.1%)となった。利用関係別では、持家は22,867戸で前年同月比+37.4%、貸家は42,525戸で+50.6%、分譲住宅は23,571戸で+22.8%、また木造住宅は51,519戸で前年同月比+44.7%であった。住宅着工動向の前年同月比は、持家が3ヵ月ぶりの増加となり、貸家が2ヵ月連続の増加、分譲住宅が2ヵ月連続の増加となった。木造住宅についても2ヵ月連続の増加となっている。

【広島県】

3月の新設住宅着工戸数は2,175戸で前年同月比+70.9%、うち持家は426戸で+23.1%、貸家は1,023戸で+152.0%、分譲は702戸で+34.7%であり、県全体の住宅着工戸数の前年同月比は再び増加し、延床面積も前年同月比+51.6%となっており、昨年同月の受注が悪すぎた影響もあるが、受注量は回復している。

当月のプレカット工場の稼働は、3月の4号特例縮小(建築基準法改正により、これまで建築確認の際の構造審査が省略できた「4号特例」の大幅な縮小)の前の物件における駆け込み申請が一時的に増加し、4月半ばまでその勢いを維持する工場があるが、着工後に新制度下で建築確認審査に要する期間が長引くことで、着工ペースが一時的に鈍るとの見方が多い。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から業況に大きな変化は見られない。米国による関税措置や為替の変動などの影響により、今後の業況が読みづらくなっている。加えて、原油価格の低下により、これまでのような価格転嫁に向けた動きが減少してくると感じる。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・主要顧客である自動車業界では、為替の変動や米国による関税措置などの影響を強く受ける可能性があるため、それらの動向や自動車メーカーの生産台数情報などをより注視しておく必要がある
- ・日用品や一般消費材も景況は停滞している

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- ・出荷状況
 - 令和7年04月 2,246 m³ (前年比91.0%)
 - 令和7年03月 2,224 m³
 - 令和6年04月 2,476 m³
- ・令和7年度想定数量 700,000 m³

広島県西部砕石協同組合

業界各社の値上げ活動により単価が上がってきたが、まだ追い付いていないものもあるため、引き続き値上げ交渉を進めている状況である。生コンクリートの単価値上げに伴い、プラント骨材についても単価値上げを交渉している。

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は前月比+4.1%、前年同月比+1.3%となった。出荷時期の変更等が主な要因である。日工会による4月の記者会見では、前月比で2ヶ月連続、前年同月比で6ヶ月連続の増加となった。

リョービ関連工業協同組合

原材料、光熱費、人件費などの高騰の中で、米国による関税措置が主要取引先である自動車メーカーに大きな影響を与えるため先行きの見通しが悪い。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合 (電気機械器具)

売上は前月比▲1%、前年同月比+1%となった。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (自動車)

東友会協同組合

マツダの生産はラージ商品群を加えて大きな期待がかかるが、主力のCX-5のモデルチェンジを予定しており、全体的には低調な生産水準となっている。これまで全体を牽引してきた米国向け販売が関税の影響をどの程度受けるかが今後懸念される。

(4月度自動車国内販売動向)

全需は31.9千台、前年同月比+1.0%と4ヶ月連続で増加。(登録車は+3.2%、軽自動車は+12.4%と共に増加。)マツダ車は全体で+5.8%と増加。(登録車+12.7%(8.3千台)、軽自動車▲13.1%(2.3千台))。

(3月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,588千台で、前年同月比+10.2%と増加。マツダは+16.1%と、前年同月比を9ヶ月連続で上回る結果となった。

欧州の全需は1,514千台で、前年同月比+2.7%と増加。マツダは+5.4%と増加した。

中国の全需は1,650千台で、前年同月比+6.9%と増加。マツダは+12.1%と増加した。

マツダの3月の海外販売は、米国による関税措置前の駆け込み需要などにより、北米や欧州、アジアの主要市場でも好調となり、合計台数は109.6千台、前年同月比+12.9%となった。

(3月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、北米以外が減少して前年同月比▲12.6%と2ヶ月連続で減少。また、国内生産台数は、前年同月比▲10.6%と減少した。

八本松工業団地協同組合

米国による関税措置に伴う自動車メーカーの生産調整等により仕事量と売上が減少した。

●輸送用機械器具 (造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和7年3月の船舶建造許可実績は8隻、346,940総トンであった。(前月2隻89,600総トン、前年同月4隻97,540総トン)なお、内訳は、輸出船が8隻で、貨物船が6隻、油槽船が2隻であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業 (総合)

協同組合広島総合卸センター

- ・新年度が明け、年度末需要の反動もあり、売上高・収益状況ともに悪化している。業界全体では販売価格の上昇以上に仕入価格も上昇しているため、収益の改善には直結していない
- ・米国による関税措置に伴い、輸出企業を中心に事業環境の不確実性が高まっているが、回り回って国内消費も購買意欲低下に繋がるのが予想される

●卸売業 (電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

4月に入り一部メーカーにて価格改定(値上)の案内があり値上が止まらない状況が続いている。また、4月初めから中旬にかけて電線の銅ベースが大きく下がり不安定な状況になるなど、先行不透明な状況となっている。

(小売業)

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・4月度中央市場水産部は、大都市圏での相場高により卸や仲卸業者が仕入を諦めるケースが増加したため、入荷量の低迷が続いている
- ・4月度中央市場青果部の取扱高は、前年比で101%と増加した。入荷量は前年比111%となった
- ・最近の消費者は、米価の上昇により青果物の購入を後回しにする傾向にあり、米価の推移によっては青果物の売上低下が懸念される

協同組合三次ショッピングセンター

好調の核店舗が毎月売上を伸ばしており、近隣のスーパーマーケット閉店の影響もあって施設売上は前年比113%、来店客数は103%と大きく上昇した。しかし専門店物販店舗は前年並みで新規顧客獲得に苦戦している。仕入価格上昇分を価格転嫁しても資材費、燃料費高騰は利益を圧迫しており、更なる価格転嫁が必要不可欠となっている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和7年4月度販売実績89%（前年同月比）。AV商品90%、白物商品88%、薄型テレビ89%（内有機EL43%）、DVD99%、冷蔵庫77%、洗濯機96%、IHクッキングヒーター99%、エコキュート89%、エアコン89%、炊飯器89%、電子レンジ87%、掃除機83%。メーカーが家電のウエイトを減らしているため、販売会社の専門店支援が弱くなってきている、商品状況も品切れが多く、販売店は困惑している。

●その他小売業（燃料）

広島県石油商業組合

新たに燃料油価格定額引下げ措置が始まる予定である。それに伴い、燃料油の単価が下落し、消費者の買い控えが発生することで在庫が増加し、資金繰りの悪化が懸念される。

●商店街

呉本通商店街振興組合

4月8日、呉商工会議所会頭が防衛省に出向き、防衛省による日鉄呉跡地の一括購入についての陳情書を防衛事務次官に手渡した。陳情の趣旨は、早期に契約を締結する事と地元企業の活用で、呉商工会議所としても早期実現に向けて積極的に協力する旨を伝えた。旧そごう跡地を含む呉駅前再開発と日鉄跡地の動向は、呉地区の活性化において極めて重要な事柄である。また、4月29日（祝）は恒例の「呉みなとまつり」が開催された。市中心部の蔵本通り一帯で、昨年より5万人多い約25万人が街に繰り出し、パレードやステージで盛り上がった。イベントでの集客力は保たれている。

広島金座街商店街振興組合

ミナモア開業による影響で入店客や売上が減少した店が少なからずあるが、商店街全体の来場数の減少はあまり感じられない。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲10.6%、前年比▲2.9%
- ・車検場収入は、前月比▲12.0%、前年比▲3.3%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲24.6%、前年比▲8.7%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

年度末の残務などで稼働数が増加し、前年同月比で売上は増加した。

(建設業)

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、4月度は前月比+1.5%、前年同月比+4.9%となった。店舗、マンション、住宅共に物件数は下降傾向にある。

福山地区電気工事業協同組合

当月の受注件数は、253件と前年同月比で84%であった。

神辺建設業協同組合

当月は案件数が減少し、前年同月比では減少となった。加えて、物価高騰が続き景況感は悪化している。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・当月の売上高は、前月比、前年同月比ともに増加となった
- ・軽油価格に関しては、原油価格の低下や円高などにより政府の補助金額が0円となった

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高年齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・当月は公的評価業務の入金がないため、前月比では売上や収益はやや減少した。前年同月比では一般鑑定業務が多かったため、増加、好転している
- ・不動産市場については、全体的には住宅地、商業地ともに売買が減少している。一般向けでは、材料費の高騰や人手不足で、戸建住宅、共同住宅の建築等が減少している。地域的に見れば市内周辺地域、特に安佐南区の安古市地区の地価が上昇している。これは、資金力がある不動産業者の参入により、土地の素地取得競争が激しくなっていることが要因である
- ・マンション販売についても、新築マンションの価格高騰により、売れ行きが低調になってきている。中古マンションについても依然として販売価格が高止まりしている